

# まちネット緑 2022年8月定例会議事録

日時・場所:2022年8月3日(水)16:00~18:00 みどり一む大会議室

出席者:池田、黒沢、佐々木、田中、中島、長嶋、樋口、吉開、磯野(オブザーバー)、片山(オブザーバー)、

欠席者:岡部、篠崎、早川、満井、森、鷺山

配布資料:①2022年8月定例会議議題 ②7/14城西大学「J-DAG 訓練」参加報告 ③R4年みどり一む防災・減災講座レポート ④防災・減災講座アンケート結果 ⑤震災と戦争を考えよう!(企画メモ) ⑥令和4年度相模原市収蔵美術品展「被爆ヒロシマ・ナガサキ」 ⑦横浜「市史通信第29号」2017年7月7日発行より ⑧焼夷弾の絵 ⑨被爆者証言(宇都宮節子さん 80歳):せっちゃんの夏 ⑩「広報よこはま」8月号

## 1. 連絡・報告事項

\*7月14日城西大学 J-DAG 参加報告 資料-②

- ・城西大学の授業の一環(飯塚先生から片山さんが招待を受け、だるまメンバー6人が参加)
- ・J-DAGは4月から授業で準備されていたので、さほど混乱はなくスムーズに実施された。
- ・指示書では、防災資材は使い回しが出来ないことになっている。
- ・坂戸市では「J-DAGを行政主導で行うことには、肯定的でない。」

\*7月31日みどり一む防災・減災講座ふりかえり 資料-③④

- ・講座内容は申し分ない!参加者も真剣に受講され、満足度が高かった。
- ・講座内容が豊富すぎて、質疑応答の時間が取れなかった。  
→途中で、参加者に時間延長の同意を求めた上で、1人・2人でもよいから意見を聞くべきだった。
- ・20代の若者が参加。アンケートには、「近所付き合い、共助の大切さを認識し、自分から出来る働きかけを心がけたい」と書かれていた。少しでも意識を変える事ができたので、開催してよかった。

<安否確認について>

三保町でも黄色いリボン(「大丈夫です」という意思表示として各家庭に掲示)の配布を開始。  
→配っただけではダメ(しまい込んで、いざという時に使えない)。玄関先に置いて、すぐに掲示できるような訓練が必要。

\* 建築士の日防災イベント(8月7日 12:00~15:00)は中止(感染拡大のため)

## 2. 「横浜市地震防災市民憲章」の唱和

各イベント(特に行政主催の)でも行うべき

## 3. 9月1日のイベント(震災と戦争を考えよう!)&後日意見交換・勉強会(落合先生:11月くらい) 資料-⑤

\* 参加申込者は今日までで23人

\* 8月25日(AM みどり一む)に企画会をやりたい

\* 横浜市史通信(資料-⑦)を書かれた「羽田氏」は防災塾・だるまの事をご存じ

#### 4. フリーディスカッション(平和について考える) 資料-⑧⑨

\* 被爆者証言「せっちゃんの夏」の朗読(樋口)

\* 戦争の体験(または上の世代から訊いた話)は、語り継いでいかななくてはならない。

<中島さん>

原爆の話はされても、戦争について語ることは控えられてきたのではないか(タブー?)

原発についても2011年の事故以来、語ること自体がタブー視されていて、技術的な進歩が阻害された。

<長嶋さん>

父親から、学徒動員で「中島飛行機で爆弾を作っていた(何を作るのかは聞かされていなかった)」話を聞かされている。父親は、ウクライナのニュースを見る度に、当時を思い出すようだ。

<樋口>

親や祖父母から聞いた戦争体験を、次の世代へどう語り継いでいくか?

長崎の小中学校では授業で「青い空は」という歌を歌って、原爆(戦争)を忘れない様にしている。

<池田さん>

叔父さんが、広島で作業中二次被爆(被爆者名簿に名前がある)

「長崎の鐘」の作詞を手がけたサトウハチローは、弟が広島で被爆。

<磯野さん>

樺太から引き揚げ(日本郵船の船舶:真岡(樺太)→鶴岡(山形))。叔父さんは銃殺。

日本は、自虐史観に陥ることなく、自信を持つべき。

<片山さん>

・建物疎開(縄をかけて、人力で家を壊す)を見た。

・姫路空襲に遭った(家族ばらばらに逃げたが、行き会う事が出来、親戚の家へ身を寄せた)。

・姫路は焼夷弾、川西は爆撃。姫路城を残したのは計算の上か。

#### 5. 「広報よこはま」8月号から:

15面:

\* 台風シーズンに備え、自宅の崖地・よう壁の安全を確認しましょう。

\* 地盤品質判定士による「横浜市 崖地相談会」

9月2日(金)・3日(土) 10:00~12:00 13:00~17:00

次回の定例会:

9月6日(水) 16:00~18:00 みどり一む大会議室

以上